

# 市長 原発推進関連法に懸念表明

## その一方で、「3つの検証」総括を県が行うことを評価

6月定例議会の一般質問で私は、防犯カメラの管理方針、原子力発電新方針、新型コロナウイルス対策をとりあげ、市長に見解を求めました。今号では原子力発電関連の質問について報告します。以下は質問の要約です。

【橋爪】GX脱炭素電源法がこのほど成立したが、原子力発電所の運転期間の延長とか、新増設などが入っている。柏崎刈羽原子力発電所から30km圏内の自治体の長として、どう対応していくか。

【中川市長】法の中で「再生可能エネルギーの最大の導入促進」については、再生可能エネルギーの普及が必要であるという私自身の考えと大きな相違はないものと認識している。一方、「原子力の活用」については、法律の成立過程において国民的議論が十分でなく、拙速感

が否めないと感じているほか、「原発の運転期間制限40年で廃炉」という私の考えとは異なることから、懸念を抱いている。

【橋爪】新潟県は「原発をめぐる3つの検証」を自ら取りまとめるとしているが、市長の見解を聞きたい。

【市長】検証総括委員会の委員の任期が本年3月末で切れ、再任がない状況の中、花角知事がご判断されたことであり、私は見解を述べる立場にない。私としては、県において、3つの検証結果の総括を早期に進めるとともに、その結果を分かりやすく県内市町村長や県民へ説明することが必要であると考え、本年4月に市町村研究会を通じてその旨を県に申し入れたところだ。今後の動向を注視していく。

【橋爪】原子力の活用の問題で、もっと国民的な議論が必要だったのではないかなど、いくつか懸念しているということ率直にお答えいただいた。それは一定の評価をする。ただ、県の3つの検証については、果たして市長の言われるようなことのでいいのか。市長

は、選挙の時に原発の再稼働するかしないかの前に、まずは3つの検証をきちんとやるのが大事だという話をされてきた。その公約を実現するという立場からいって、今、県が直接乗り出し、有識者委員会に代わって総括をまとめるということについて、市長自身の評価を明確にすべきだ。

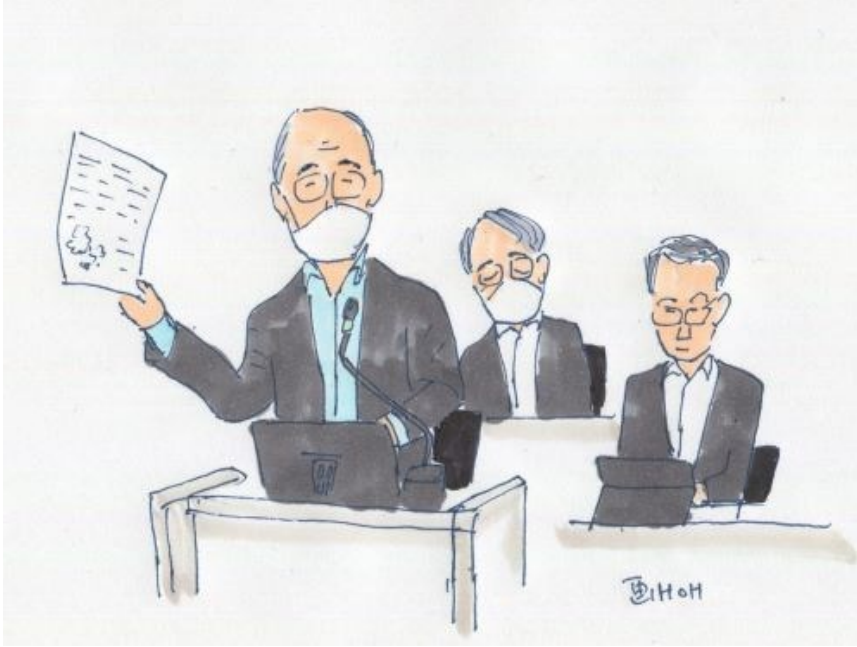
【市長】私としては見解を述べる立場にはございません。ただ、いまの段階で柏崎刈羽原発を運営している東京電力には不信感を持っている。



【ボダイジュ】アオイ科の落葉高木。漢字で「菩提樹」と書きます。先日「上越の名家めぐり」で頸城区百間町にある集義園瀧本邸に行った際、この木と出合いました。花期は6月頃。葉の付け根から垂れ下がるように淡黄色の花を咲かせます。花言葉は「夫婦愛」「結婚」。写真は、6月20日、頸城区の瀧本邸にて撮影しました。

全国市議会議長会などから在職30年以上の表彰状をいただきました。20日の本会議開会前に伝達式が行われました。

この表彰は私を支えてくださった市民のみなさんのおかげです。心から感謝申し上げます。お陰様で体調は良好、薬ひとつ飲むことなく過ごしていて、まだまだ頑張れるかなと思っています。今後ともよろしく願います。



エッセイ集  
**花嫁行列**

橋爪法一

読むと気持ちがあたたかくなります

私の10冊目のエッセイ集を7月中旬にアマゾンから出します。価格は1冊1595円。ご希望の方はアマゾンに直接注文するか、私の携帯(090-5392-1961)にご連絡を。

# はしづめ法一の活動レポート

**No.2115 2023.6.25**  
 発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
 Tel 025-548-3628  
 通じないときは 090-5392-1961  
 E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp  
 URL https://www.hose1.jp/

ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一 検索

# 春よ来い

## 第七六二回 四二年前の歌

六月一日の午後、くびき野フオーク村の「サンデーライブ」に出かけてきました。このライブへの参加は一年ぶりで、三回目。直江津学びの交流館が会場でした。

この日はホールいっぱいのお客様でした。出演者は川合徹人さんご夫妻と諏訪ANI(兄)さんです。SNSなどで川合さんが「大切な友人が作詞した『春』を演奏します」と告知されていたこともあって、その歌を聴くために出かけた人がけっこうおられたようです。かく言いつつも私もそうでした。

演奏は川合徹人さんたちから。川合さんの持ち時間は「四〇分一二秒」です。灰色の素敵なハットをかぶり、お連れ合いの澄江さんとともに真っ白な衣服を着て登場した徹人さんは「最後の演奏が終わったら大人の対応をお願いします」と言って笑わせました。

最初は、さだまさしの「バースデー」、  
「幸せをありがとうぬくもり届きました」  
で始まる名曲です。続いて川合さんは「風の篝火」「線香花火」などを次々と歌いあげました。どの歌も透き通るほどきれいな声で、会場いつぱいに響きまわった。

いずれの歌も、川合さんはその歌にかかわるエピソードを語りながら歌いました。スピーチで注目したのは、NHKの「プロフェッショナルの流儀」の主題歌「プログレス (Progress)」を歌うスガシカオの言葉です。「平和って放っておくと無くなってしまう」。川合さんが昨年参加されたという長崎の平和音楽祭でのスピーチだということでした。いま、平和が強く求められているときだけに心に響きました。

さて、注目の「春」。川合さんたちの演奏では最後から二番目のところで披露されました。作詞は大潟区湯田在住の山田護さん、作曲は川合徹人さんです。

川合さんは四二年前にこの歌の詩と初めて出合いました。場所は斑尾高原のあるペ

ンション。友人の山田護さんが満面に笑みを浮かべながら、「できた！」と大声を出して持ってきたのが「春」という詩でした。川合さんはその詩を読んでドキッとしたといいます。豪雪を乗り越えて春を迎えた時の喜びが見事に描かれていたからです。この詩を読んだ川合さんは、その場でギターをポロロンとやり、曲を作ったのでした。

川合さんはこうしたエピソードを紹介した後、ギターを手に「春」を歌いました。やっと暖かい日差しをからだにいっぱい受け止められる。なんて素晴らしいんだろ…。

最初、緊張気味だった川合さんの顔はすぐに穏やかな表情となり、春到来の喜びが全身からあふれる歌となりました。作詞者の山田護さんは私の前の席です。体ひとつ動かさず、じっと聴いておられました。すぐ隣のお連れ合いはスマホで動画撮影されていましたが、感動されたのでしょうか、時折、左手の人差し指を目のところに動かして涙をぬぐっておられました。

この「春」の演奏後、川合さんは舞台をおり、「会場には作詞者のカンちゃんこと、山田さんが駆けつけてくれてありがとうございます」と紹介すると会場はドッとわきました。川合さんからマイクを渡された山田さんが、「感激しております。ありがとうございます」と語り、会場は大きな拍手で包まれました。そして、川合さんは再び舞台へ。その時、川合さんは後ろ向きになって大泣きされたのです。びっしょりでした。

じつは山田さんは一時体調を崩し、元気をなくしていました。四二年前の感動の歌の復活は山田さんを大いに励ますものとなりました。復調した山田さんはいま、元気いっぱい、笑顔いっぱいです。今度、これまで書き溜めた三七篇の詩をまとめ、詩集として出版する予定です。素敵です。

## 「あぜ道ほたる」、そして月影歌謡祭へ



17日夕方、大島地区振興協議会(早川丈夫会長)主催の「あぜ道ほたる」と音楽ライブを観て、楽しめました。生涯学習センター前のキッチンカーには長蛇の列ができました。



イラストは「あぜ道ほたる」を楽しむ家族です。お知らせくださいれば、カラーのイラストをお届けします。

「月影歌謡祭」(横尾修一実行委員長)は18日、浦川原区の月影の郷で行われ、57人のみなさんが演歌や民謡、踊りなどを披露されました。どの出演者も日ごろから練習を重ねておられ、うっとりするものばかりでした。

出演者の中には、「浦川原の3羽鳥」と呼ばれた人たちや「ウクライナと世界の平和のために祈ります」とコメントした女性の姿もありました。

イラストは「みどりのけセラセラ」、「ありがとう感謝」を歌った秋山さんと池田さんです。



### 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

|        | 6月14日(水) | 6月21日(水) |
|--------|----------|----------|
| 上越南消防署 | 0.050    | 0.050    |
| 上越北消防署 | 0.043    | 0.050    |
| 新井消防署  | 0.050    | 0.050    |
| 頸北消防署  | 0.050    | 0.047    |
| 頸南消防署  | 0.060    | 0.063    |
| 東頸消防署  | 0.050    | 0.047    |
| 名立分遣所  | 0.057    | 0.047    |
| 高士分遣所  | 0.053    | 0.047    |